

安芸 教区 各組達成目標一覧

実践目標：< 貧困の克服に向けて ～Dāna for World Peace～ >

—子どもたちを育ために—

	組 名	達成目標
1	豊田東組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の現状や課題について学び、克服に向けての具体的取り組みを明らかにし、具体化する
2	賀茂東組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年教化活動の再考 <p style="text-align: center;"><実践目標②：日常の寺院活動（地域とお寺とのつながりを大切にすること）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寺院活動の活性化の取り組み
3	高田東組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宗門総合振興計画「Ⅱ 自他共に心豊かに生きる生活の実践」並びに「子どもの貧困」問題に向け、児童向け仏教絵本を広く配布する。 <p style="text-align: center;"><実践目標②：日常の寺院活動 地域と寺院のつながりを大切にすること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域性に鑑み、福祉施設等と協力しながら、ホームへの訪問、布教等を行う
4	高田西組	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの参加する寺院活動のなかで、世界の貧困問題について学習する ② 総代会・仏教壮年会・仏教婦人会などの活動の場においてダナ活動をすすめる ③ 日曜（土曜）学校、サマースクール、高田西組「ほとけの子フェスタ」などで食事やおやつを提供する <p style="text-align: center;"><実践目標②：日常の寺院活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ① キッズサンガ運動への取り組み「子ども・若者ご縁づくり」をすすめる ② 宗教行事を通して地域の人々や子どもたちの拠り所となる寺院をめざす
5	高田北組	<p style="text-align: center;"><実践目標②：過疎の厳しい現実の中でのお寺の活性化へ向けて模索すること></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 寺院と門信徒が組内の窮状を共有し一体感を強める <ul style="list-style-type: none"> ・ 組主催による法話会、研修会の開催

		<ul style="list-style-type: none"> ・次世代とつながるための寺院活動の実施 ②当地の社会的現状に鑑み社会問題に向き合う ・認知症、看取り問題などの各種研修の受講
6	浦組	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども食堂を運営されている方に、子どもの貧困についての研修を行っていただく ②子ども食堂を運営されている方に組からの寄付金をお渡しする <p><実践目標②：コロナ禍であっても、いつでもどこでもお聴聞ができるように、オンライン法座の場を開設する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン法座開設に向けた研修会を開催する
7	東広島組	<ul style="list-style-type: none"> ・組内の各団体に宗門の重点プロジェクトの周知徹底し、子どもたちを育むために各団体と共に学びを深め、具体的取り組みへ。サマースクールの充実も <p><実践目標②：インターネットを利用して、あらゆる世代とつながる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組内の各教化団体をインターネットでつなげる
8	志和組	<ul style="list-style-type: none"> ・各教化団体が連携し連絡会を実施するなどにより、子どもたちを育むための取り組みを検討、行動する
9	安芸南組	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困についての研修会を開催する
10	安芸北組	<ul style="list-style-type: none"> ・宗門重点プロジェクトの周知徹底と貧困の現状や課題についての学びを深める <p><実践目標②：日常の寺院活動く地域社会の中で寺院の役割の再検証ー新型コロナとの共存を考えた寺院の取り組みー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの教化伝道のあり方を検証し、現実（新型コロナとの共存する社会）に即した新たな取り組みを模索
11	広島北組	<ul style="list-style-type: none"> ①海外支援 カンボジアにある教育支援施設である「ヒロシマハウス」への支援 ②子どもたちの居場所づくり支援 「子ども食堂」、「おやつクラブ」、「学習支援」等の活動に対

		する支援
12	山県東組	<p>①子どもとお寺のつながりを大切にする</p> <p>②子どもたちの心にお念仏の灯をともしよう努める</p> <p>＜実践目標②：災害被災地（者）への支援＞</p>
13	山県西組	<p>・子どもたちの笑顔のために募金箱を設置する</p> <p>＜実践目標②：仏事のあり方・意味あいを今一度考えてゆく＞</p> <p>・組内各部会の役員を含めた研修会を開催する</p>
14	山県中組	<p>・プロジェクトの周知徹底、また貧困の現状・課題について学びを深める</p> <p>＜実践目標②：日常の寺院活動＞</p> <p>・地域と寺院の繋がりを法座・葬儀は勿論、わかりやすい「揭示伝道」などで一層密にし、また組内実推委、各単位組織と更なる連携を深め、組の活性化をはかる</p>
15	山県太田組	<p>①研修会を開催し、総合基本計画・重点プロジェクトの趣旨を周知徹底する</p> <p>②国内や世界の貧困の現状や課題についての研修会を通して認識を深め、その克服に向けての組の具体的取組を探る</p> <p>③できるところから具体的取組を始める</p> <p>＜実践目標②：僧侶と門信徒が課題を共有し、全員聞法・全員伝道に取り組む＞</p> <p>①日常の寺院活動</p> <p>・地域と寺院のつながりを大切に、開かれた寺院活動を行う。</p> <p>・葬儀・仏事の意味と、正しいあり方を伝えていく。</p> <p>・仏婦やキッズサンガ活動にむけて、全寺院が関りを深めていく。</p> <p>②現代社会の問題への取り組み</p> <p>・僧侶・門信徒一体の合同研修や連研活動を通して、人々の悩みに応える具体的活動を強化していく。</p> <p>・いのちの尊厳を脅かす問題への取り組み</p> <p>差別の現実学ぶとともに、さらなる平和への歩みを確かなものにする。</p>

		<p>③災害支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法座活動・諸行事などにおいて、あらゆる災害被災地（者）への支援の取り組みを設ける。
16	広陵東組	<ul style="list-style-type: none"> ・「重点プロジェクト」の基本理解を得るために研修会を開催する。
17	広陵西組	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の貧困の現状と克服に向けての活動の学びを深め、各教化団体・福祉等関連団体と協力し支援を行う <p><実践目標②：災害等に対する支援活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教化団体と協力し、災害等に対する支援活動を行う
18	佐伯東組	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困に苦しむ方々へ痛み苦しみを共有できる心のつながりを持つ環境整備（調査・研究・情報収集）をする <p><実践目標②：人と人とのつながりを深めお寺を中心とした共 によりこび合える活動を展開する></p> <ol style="list-style-type: none"> ①自他共に心豊かに生きる事ができる社会の実現 ②あらゆる人々が参画できるお寺と宗門を目指す ③人々の苦悩に向き合いぬくもりのある活動を展開する
19	佐伯西組	<ul style="list-style-type: none"> ・法中会にてワンコイン募金を行い、貧困対策への意識を高める
20	佐伯奥組	<ul style="list-style-type: none"> ・同朋研修を深め、平和について・子どもへの貧困の取り組みを実践する <p><実践目標②：御同朋の社会をめざす運動（実践運動）の理念の浸透を図る一過疎化の中での寺院の必要性を僧侶・門信徒ともに共有する一></p> <ol style="list-style-type: none"> ①日常の寺院活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と寺院とのつながりの重要性を考え、活性化を図る ・浄土真宗における儀式の意味と重要性を正しく伝える ・サンガ部会活動に全寺院が関り合いを深める ②今日的課題への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・僧侶・門信徒合同研修、様々な研修を通して浄土真宗の認識を深める ・いのちの尊厳を脅かす問題への取り組みの推進 ③災害支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる災害被災地（者）への取り組みをする

21	佐伯沖組	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困問題についての学習を深め、地域とのつながりの中で見えてきた課題を明確にする。
22	沼田組	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などを通じて貧困の現状を知り、各教化団体が連携して取り組める体制を整える <p><実践目標②：御同朋の社会をめざして ～共に歩む実践～></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組内で課題を共有できる研修を計画し、それにもとづいた実践を各教化団体で取り組む。
23	黒瀬組	<ul style="list-style-type: none"> ①重点プロジェクトの要旨の周知に努める ②現状や課題について研修を行う <p><実践目標②：日常の寺院活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ①過疎化・寺院活動への参加者減少傾向に鑑み、実態の把握に努め将来の展望を模索する ②各寺院独自の活動に学び、支援する
24	呉東組	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な貧困の実態を知る」 <p>児童民生委員は地域の実情を把握し行政との連携をとりながら貧困家庭を減少させるために努力されている。そうした活動について学習するところから始め、地域の実態に合わせてどのような活動が出来るかを模索していく。</p> <p><実践目標②：「郷土歴史のなかにみ教えを求めて」～浄土真宗のみ教えが如何に郷土に根ざしたかを振り返り、これからの門信徒と僧侶の繋がりを考える～></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当組が令和5年に結成50周年を迎えるにあたり記念誌を作成することも視野に入れて、当地域が安芸門徒と呼ばれるようになった歴史を、郷土の史跡や歴史に詳しい門信徒との交流のなかで学びを深める。 <p><実践目標③：緩和ケアについて学ぶ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生の終末期にある人に浄土真宗の立場から、如何に寄り添っていくことが出来るかビハーラを通して学び、将来的には組として緩和ケアに取り組んでいくためにはどうすればよいかを探る。

25	深川組	・宗門の重点プロジェクトを周知し、できることを継続的に行い、組内寺院・組内団体・ご門徒さんにも声をかけ、徐々に活動の輪を拡げていく
----	-----	-------------------------------------------------------------------